自己評価結果等届出書

令和　　8 年　　2 月　　27 日

鹿児島市長　殿

1　事業者（所）情報

事業者の名称（法人名）	社会福祉法人　慶生会					
事業所の名称（施設名）	もぜ					
事業所番号	4650005483					
事業の種別	☑	児童発達支援	☐	放課後等デイサービス	☑	保育所等訪問支援
事業所の所在地	鹿児島市清和4丁目1番40号					

2　公表状況

公表日	令和　　8 年　　2 月　　27 日	
公表方法	1．方法の区分 （プルダウンから選択）	ホームページ ↓2にURLを記載
	2．内容	www. Keiseikai-kagoshima.jp
	※公表をホームページ以外の方法で行っている場合には、公表している媒体の写しや事業所内の掲示箇所が確認できる写真等も添付すること。	

3　自己評価事務担当者情報

担当者名	清藤　小百合
連絡先（ＴＥＬ）	099-297-4800

※公表している自己評価表を添付すること。

（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	もぜ			
○保護者評価実施期間	令和7年12月1日	～	令和8年1月13日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	25	（回答者数）	20
○従業者評価実施期間	令和7年12月1日	～	令和8年1月13日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	8	（回答者数）	8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月11日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	親子通園クラスがあり、親子ともに療育へ参加できる。 丁寧に段階を踏んだ上で、母子分離へ移行することができる。	親子で通園して頂き、親子の関わりについて一緒に考える機会が確保できている。日頃の困り感や、どのように関わっていけばよいか等、一緒に考え見通しを持つことで、不安を軽減できるようにしている。	親子で通うメリットを活かしご家族共に安心して通園出来る環境を整えていく。
2	看護師がおり、医療的ケア児も通園できる。 専門職と連携しながら個々に合った支援を提供できる。	受入前に丁寧にお話を伺い、必要機関との連携を図りながら相互理解した上で通園して頂いている。また関係機関との連携を図っている。	専門職との連携を図り、家庭環境、お子様の発達の変化へ細かに対応していけるようにする。 必要機関との密な連携を図り、情報共有の機会を設けていく。
3	基本的な生活リズムを作ることで、生活スキル（排泄、昼食、お昼寝、おやつなど）を学ぶことができる。	生活の基礎がしっかり身につくように個別に丁寧な支援を心掛けている。 就園就学を見据えた支援を行い、日々の生活リズムを確立できるよう配慮している。	生活リズムを確立するとともに、専門職との連携を図り、運動機能の向上、情緒の安定を図れるようにしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の中での認知度。 事業所の特色や支援内容を知って頂く機会。	地域の幼稚園保育園との連携を図り、事業所のことを知って頂けるような機会を設ける。	開かれた事業所を目指し、イベント開催時に地域の方との交流の機会を設けていく。
2	ご家族同士のコミュニケーションの場の確保。 ご家族同士の懇談会を実施しているが、より参加しやすい環境を整えていきたい。	ご家族に集まって頂く時間設定。 ご参加頂ける方が固定化されないようにしたい。	曜日や時間について、ご家族により多く参加して頂ける日程調整。 ご家族同士交流できる場を増やし、それぞれの思いを伝え合ったり、コミュニケーションを図って頂くことでご家族の気持ちが楽になるような場の提供に努めていく。
3	専門職との日程調整。	利用児様、支援者、専門職、それぞれの予定を確認し、円滑な日程調整ができるようする。	お子様・ご家族のご意向を把握し、専門職との連携を密にとっていく。専門職からの助言を職員間で共有し、支援に活かしていく。

（別紙４）

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	もぜ

公表日　令和８年　２月　27日

利用児童数 25名　　回収数 20

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18	1		1	・一度に何人の子が利用しているのか分からない	通園人数は日々異なる為、人数や活動内容によって工夫して使用しております。活動スペースは基準に沿って確保されております。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	17	1		2	・何人の利用者がいて、職員が何人いらっしゃるのかわからない ・新しい先生が入られると挨拶や声掛けもないので、もぜの先生なのかもわからず以前困ったことがあります。挨拶して頂くとこちらも声掛けしやすいかなと思います。	定められた職員配置で支援しております。 新入職員からしっかり挨拶ができるようにして参ります。お手紙等でも紹介させて頂きますのでそちらもご確認頂ければと思います。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20					お子様の発達状況を把握し、適切な環境を整えて参ります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20				こまめに消毒して下さっており、とても清潔だと思う。	場面によって空間を分けて使用しています。日々の清掃を丁寧に行い環境整備に努めます。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20				こどもの様子をよく見ながら必要な支援をとてもよくして下さっており、親に自宅での様子や園での様子などしっかりヒヤリングして下さり、現在どのようなことが必要か、今後こうなっていく為に～～をしています、という説明をしっかりして下さり内容に沿って支援して下さっているなと思います。	お子様の発達について把握、理解した上で支援に当たって参ります。特性に応じた対応ができるようにさらなるスキルアップを目指します。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	20					公表した支援プログラムをもとに支援を行って参ります。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19	1				ご家族、お子様のニーズや課題把握に努め、計画に反映して参ります。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20					児童発達支援ガイドラインに基づき計画を作成しております。お子様お一人ずつにあった支援を提供して参ります。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20					児童発達支援計画に沿って支援を行っております。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20				お買い物などで沢山学んでいる	活動プログラムは毎月見直しを行っており、固定化されないような工夫、季節感を取り入れる工夫をしております。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	14	3	3	2	・たまに公園などで。 ・もぜにはまだ1か月しか通っていないのでわからない。 ・園側が対応が難しいため	現在交流の機会はありませんが、今後検討してまいります。
保	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20					契約時に説明させて頂いております。不明点はいつでもお問い合わせ頂ければと思います。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20					児童発達支援計画での説明は年2回行っております。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	20					家族会や、ご家族に参加して頂ける研修の機会を設けております。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	20					連絡帳や日々の申し送り等で共有させて頂いております。ご家族様からもこまめに連絡頂けて大変ありがたいです。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20					定期の面談以外にも、随時受け付けておりますので、お声掛け下さい。

護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20					ご家族に寄り添った支援ができるよう努めて参ります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	19			1		今年度は家族会の開催（2階）と懇談会実施（3回）致しました。また親子療育時にご家族同士で話をできる時間を設けております。兄弟児の交流についてはイベント時にご参加頂けております。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20					相談等あった際には、迅速に対応できるよう努めて参ります。いつでもお気軽にお声掛け頂ければと思います。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20					丁寧な申し送り、紙面のみでなく、さくら連絡網等を活用してより迅速に分かりやすくお伝えして参ります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	19	1				毎月の月間行事予定表の配布、ホームページ更新をしておりますのでご覧頂ければと思います。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20					個人情報取り扱いに関して留意しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20					マニュアルの作成し、訓練を行っております。今後も継続した訓練を行い緊急時に備えます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	20				定期的な避難訓練を実施して頂いている。	火災・地震に関して毎月の避難訓練を行っております。浸水想定地域に該当するため、水害の避難訓練も実施しております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20				子どもたちの体調などもこまめに見て下さっているなと思います。	安全計画を作成し、支援に取り組んでおります。今後も安全確保に努めてまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20					事故等（怪我）おきた際にはご家族へすぐに連絡を取らせて頂き、状況説明を行っております。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	19	1			もぜに行くことが大好きでとても楽しみにしています。	今後ともお子様が安心して通園できるよう支援に努めてまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	19	1			・パソのお友達、先生と会った日はいつも寝るまで楽しそうに話しています。 ・併用先利用日も「もぜに行く！」と伝えてきます。楽しいみたいです。	お子様が楽しみに通って頂けるよう支援して参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	20					お子様、ご家族ともに安心して通園され、事業所の支援にご満足頂けるよう丁寧な支援を心がけ、より一層技術の向上に努めて参ります。

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	もぜ

公表日　令和8年　2月　27日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		状況よっては狭く感じることもある為、活動部屋を分けるなど工夫している。	規定に沿ったスペースが確保しております。活動によってスペースを工夫して使用した上でに支援に努めて参ります。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			定められた職員配置で支援しております。今後も適切な支援に努めて参ります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		お子様の身体発達面等考慮し、危険のないような環境設定を心掛けている。	お子様にとってより良い環境で支援できるように環境を整えて参ります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			日々清掃を行い清潔を保つようにしております。また部屋の中はお子様が過ごしやすい環境設定を整えるよう努めております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			お子様の状況に応じて部屋の確保を行い、安心して過ごせる場の提供を行って参ります。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			業務改善事項を共有し、随時振り返りを行うことでさらなる改善へと繋げるようにして参ります。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			保護者様からのご意向等しっかり把握し、改善に繋げて参ります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員会議等で意見を出し合い、業務改善に努めております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		現在外部評価を行っておりませんが、今後検討して参ります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		毎月の療育研究会、外部研修も随時受講しております。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムを、ホームページにて公表しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		お子様お一人ずつアセスメントを行い、児童発達支援計画を作成しております。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		支援に関わる職員の意見を反映し、共通理解の上で児童発達支援計画書の作成を行っております。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		児童発達支援計画書の共有を行い、計画に沿った支援を心掛けております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			ご家族へ丁寧なアセスメントを行いお子様の状況を確認して参ります。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			児童発達ガイドラインに基づき支援内容を設定しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		活動プログラム作成は職員間で話し合って作成しております。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		活動プログラムが固定化しないよう、内容を工夫しております。	お子様がより活動を楽しめるように、また発達に合わせた内容になるように工夫して参ります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			お子様の状況に合わせた支援内容を検討し実施しております。お子様の情報把握に努め計画作成できるようにして参ります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		できるだけ打ち合わせの時間確保に努めております。	月ごとの活動リーダーを決め、必要事項は事前に確認、当日にも再確認しております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		気付きについてはノートを活用し、職員間で共通理解できるよう努めております。	行事等は特に丁寧に振り返りを行い、次回の活動に活かされるようにして努めて参ります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			必要事項が漏れないように、様々な媒体を使って改善に繋げて参ります。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			ご家族へのモニタリングを行い、定期的な見直しを継続して参ります。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			児童発達支援管理責任者を始め、直接支援に携わっている職員が出来るだけ多く参加できるようにして参ります。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			今後も関係機関との連携を図り、充実した支援を行って参ります。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			幼稚園や保育園との連絡会、小学校との連絡会を実施しております。連携の機会をしっかり設け、支援内容について相互理解を深めて参ります。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		小学校連絡会を実施し、就学先との情報共有と図ることができるよう努めております。	
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	○		年3回児童発達支援事業所との、事業所連絡会を開催しております。	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		専門職との連携を図り助言を受けることで支援に活かせるようにしております。また外部研修にも参加しております。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○			自立支援協議会のこども部会には法人代表で出席しております。
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		現在交流は行っておりませんが、今後検討して参ります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		お子様の状況や課題については、日々の申し送り、連絡帳、電話等通じて情報共有を行っております。	送迎利用で共有の機会が少ない方へは連絡帳を中心に共有しております。こまめに連絡を取り、共通理解に繋げて参ります。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			ご家族向けの研修の機会として、講演会を実施いたしました。今後ペアレントプラグラムの実施等検討して参ります。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明を行っております。利用者負担が必要な場合は事前に説明を行っております。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		作成にあたって、ご家族のご意向をしっかり聞き取り計画作成しております。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		児童発達支援計画を基に説明を行い、保護者様より同意を頂いております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		ご家族からの相談に関してはタイムリーな対応を心掛けております。	些細なことでもご家族が話しやすい雰囲気作りを心掛けて参ります。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		家族会の実施、親子療育時にご家族との茶話会の時間を設けております。また懇談会を開催致しました。	イベント時にご兄弟もご参加頂いております。交流の場としての計画は今後検討して参ります。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			相談へ迅速に対応し、安心して通っていけるよう対応して参ります。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		ホームページ等にて活動風景を発信しております。また法人の広報誌にも掲載されております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の取扱いには十分留意しております。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			情報伝達の為がしっかりできるよう工夫、配慮して参ります。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		法人としてのイベント、また事業所としてのイベントへ地域住民の皆様にご来館頂けるよう機会を設けております。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルを整備し、定期的な訓練を実施しております。	保護者様に周知されるよう、さくら連絡網等活用し発信して参ります。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを作成しております。また非常災害に対する備えや訓練を実施しております。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		利用前にアセスメントを行い、確認させて頂いております。	ご家族が安心できるよう、丁寧に確認して参ります。また変更があれば随時共有して参ります。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		利用前にアセスメントを行い、栄養士との共通理解、職員間共有を図っております。	毎食時栄養士との確認、配膳前に職員間で確認し、対応して参ります。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、職員間で研修や訓練を行っております。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	○			ご家族へ周知できるよう丁寧に説明して参ります。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット内容は事業所内で共有しております。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止委員会を開催しております。また法人全体研修時にも実施されております。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			現在身体拘束が必要なお子様はいらっしゃいませんが、必要な場合には決定事項に沿って実施して参ります。

（別紙４）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	もぜ（保育所等訪問支援事業）			
○保護者評価実施期間	令和8年2月11日	～	令和8年2月11日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	0	（回答者数）	0
○従業者評価実施期間	令和8年2月11日	～	令和8年2月11日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	1名	（回答者数）	1名
○訪問先施設評価実施期間	令和8年2月11日	～	令和8年2月11日	
○訪問先施設評価有効回答数	（対象数）	0	（回答数）	0
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月12日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日頃から幼稚園・保育園との連携を図っている為、幼稚園保育園については保育所等訪問の受け入れ、日程調整がしやすい。	日頃からのお子様の情報のやりとりを丁寧に行うように心がけている。	保育所等訪問支援を継続して行えるように、実施計画を立てた上で、スケジュール調整を行う。
2	訪問を複数で行っている。	複数で訪問を行うことで、様々な視点からの助言を行えるようにしている。	訪問者同士連携を密に図り、情報共有を行っていく。訪問者から事業所職員への共有を必ず行う。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	お子様の困り感について、ご家庭・園・事業所それぞれの様子の情報収集が足りているか。	それぞれの困り感、意向などをしっかりとアセスメントし、訪問時の着眼点を明確にしていく。	お子様の発達の変化に対応できるよう、定期的なモニタリングとアセスメントを行う以外にも、ご家族や園との繋がりをより強固にしていく。
2	専門職との日程調整の円滑さ。	保育所等訪問支援を利用するご意向を把握し、各専門職との連携を密にとっておく。	園・事業所・専門職のスケジュール調整を円滑に行い、スムーズな訪問へと繋げていく。
3	訪問後の助言について、限られた時間の中で的確に伝えられるか。	園の方針や保育方法の妨げにならないかなど配慮した上での助言・アドバイスを行っていく。	専門職からの視点として、ポイントを絞って分かりやすいようにお伝えしていく。

（別紙５）

公表　保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名	もぜ（保育所等訪問支援事業）

公表日　令和8年　2月　27日

利用児童数 0　　回収数 0

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。						必要に応じて準備可能です。
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。						面談室は個室でありプライバシーに配慮した作りになっております。
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。						契約の際に説明をしっかりさせて頂きます。
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。						希望があられた際には適宜訪問施設と相談し決定して参ります。
適切な支援の提供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。						職員体制を整えております。
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。						職員のスキルアップとして、毎月1回療育研究会にて勉強し、より専門的な支援の提供を目指しております。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。						モニタリング、アセスメントにて保護者様からの情報を基に、検討会議にて職員間で共有しながら計画を作成しています。
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。						契約の際にはニーズを確認しながら策定して参ります。
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。						児童発達ガイドラインに基づき支援内容を設定しています。
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。						計画に沿って支援しておりますが、随時職員間で確認し合いながら進めて参ります。
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。						訪問先の保育に差支えのないよう、活動内容を把握した上で訪問しております。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。						契約時に説明させて頂きます。
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。						利用前に発達支援計画を基に支援内容の説明を行い、その後誕生月、半年後と定期的に説明を行っていきます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。						研修の案内など適宜行って参ります。
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。						利用がある場合はお子様の状況を保護者様と共有させていただき、併用先と支援の統一を図ってまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。						半年に1回は面談実施と必要に応じて随時面談調整を行って参ります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。						共感的に支援できるよう、研修等で支援の姿勢を学んでおります。
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。						相談があった際は、職員間で共有し最善な対応に努めると共に、必要であれば関係機関とも連携を図りながら、スムーズな解決に繋げられるよう努めます。
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。						お子様には絵カードを用いて意思を確認したり、保護者様とは申し送りや連絡帳等で情報伝達を行っております。
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。						訪問先施設から相談があった際は随時対応し情報共有や必要な支援を行っています。

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。						訪問後必ず訪問先の職員と情報共有の場を設け、支援の統一を図っております。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。						訪問実施日に保護者様と共有して参ります。
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。						保育所等訪問に関する情報の発信が少ない為、今後増やせるよう検討していきます。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。						個人情報の管理に関しては徹底しております。
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。						連携できるように努めて参ります。
満足度	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。						安全計画に沿って職員会議にて研修を行っております。今後も安全確保に努めてまいります。
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。						お子様の状況に合わせて対応して参ります。
	28	事業所の支援に満足していますか。						満足できる支援を提供できるように努めて参ります。

（別紙６）

公表　訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名
もぜ（保育所等訪問支援事業）

公表日　令和8年　2月　27日

利用児童数　0　回収数　0

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。					わかりやすい説明ができるよう配慮して参ります。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。					引き続き専門的な知識を深めて参ります。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。					ご質問があればいつでもお問い合わせ頂ける体制を整えております。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。					訪問開始後は定期的に課題や困りごとを共有させていただき、少しでも解消できるよう努めて参ります。
5	事業所からの支援に満足していますか。					今後検討して参ります。

その他のご意見	ご意見を踏まえた対応
	次年度は保育所等訪問支援事業の確実な実施に努めて参ります。

（別紙７）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	もぜ（保育所等訪問支援事業）

公表日　令和8年　2月　27日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境・体制整備・運営・	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	○			お子様に合わせた教材の準備を行い、支援に活かして参ります。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			適切に人員配置しております。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			職員間で振り返りを行って参ります。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			保護者様からのご意見を参考にさせて頂きます。
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか 。	○			業務改善に努めて参ります。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		今後検討して参ります。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○			実施しております。
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○			利用希望がある場合は実施して参ります。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか 。	○			利用希望がある場合は実施して参ります。
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○			利用希望がある場合は実施して参ります。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	○			利用希望がある場合は実施して参ります。
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			利用希望がある場合は実施して参ります。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○			利用希望がある場合は実施して参ります。
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			利用希望がある場合は実施して参ります。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			利用希望がある場合は実施して参ります。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			利用希望がある場合は実施して参ります。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○			利用希望がある場合は実施して参ります。
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○			利用希望がある場合は実施して参ります。

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			利用希望がある場合は実施して参ります。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			利用希望がある場合は実施して参ります。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			利用希望がある場合は実施して参ります。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			利用希望がある場合は実施して参ります。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○			現在も適宜参加しております
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○			利用希望がある場合は実施して参ります。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			利用希望がある場合は実施して参ります。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			利用希望がある場合は実施して参ります。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			利用希望がある場合は実施して参ります。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○			利用希望がある場合は実施して参ります。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	○			利用希望がある場合は実施して参ります。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○			利用希望がある場合は実施して参ります。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○			利用希望がある場合は実施して参ります。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○			利用希望がある場合は実施して参ります。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			利用希望がある場合は実施して参ります。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			利用希望がある場合は実施して参ります。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			利用希望がある場合は実施して参ります。
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			利用希望がある場合は実施して参ります。
訪問先施設への	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○			体制は整備しております
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○			利用希望がある場合は実施して参ります。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○			利用希望がある場合は実施して参ります。

説明等	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			利用希望がある場合は実施して参ります。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○			利用希望がある場合は実施して参ります。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			策定済みです。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			策定し適宜訓練を行っております。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			実施しております。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			実施しております。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			利用希望がある場合は実施して参ります。